

横井 昌明 議員

識市会

農地を有効利用するため に市街化区域への編入を

問

最近の農業は、TPP問題、米の生産調整、減反等の廃止等、農政は大きく変化し、農家は現在、米の作付の収入支出の関係は、赤字であり、大変な時代である。今後、農家が農地を維持・管理する選択の道は農地の有効利用以外にはないと考える中尋ねる。

(1) 農地の有効利用の第一は、市街化区域の編入であると考えますが、どのような条件が必要なのか。

また、市の考える市街化区域の編入は、どの地域なのか。

(2) 市総合計画で市街化整備成果指標の市街化区域面積が19年の千12ヘクタールから、25年の千72ヘクタールに増加しているが、この区域なのか、また、その編入成果はあったのか。

(3) 市街化調整区域における大規模開発行為は、総合計画、都市計画マスタープランとの整合性や、市町村が定める地域計画が必要だが、具体的にどの地域か。

(4) 財源を確保する方法の一つとして積極的に内陸部での企業誘致を行ってほどうか。

運用基準を全て満たさなければならぬ

答 開発部長

(1) 市街化区域への編入は、愛知県が都市計画を定めており県の都市計画による手引きでは、都市計画区域の整備、開発及び保全の方針との整合性が図られ、かつ市町村マスタープランなどに位置づけられているとともに、広域的な都市計画の見地から、妥当であり、計画的な市街地整備が行われることが確実な区域に限ってあるとなっており、5項目の運用基準が示されている。

編入区域は、5項目の全てを満たす区域で編入ができるものと考えている。

(2) 弥富市都市計画マスタープランの土地の利用のものづくり産業地として位置づけられている区域の一部60ヘクタールである。

編入の成果は、現在、県企業庁などに要望しており現時点では達成していません。

渋滞緩和のために鎌倉新橋を有効活用しては

問

市道鯛浦263号線は、関西線を高架鉄橋で渡り、市道に繋がる道路で車新田、近鉄弥富駅へ通じる便利な道路だが、国道155号線の高架手前から進入するため、朝の時間帯渋滞に巻き込まれ、入ることができない。

そこで、鎌倉新橋を有効利用し、国道155号線が混雑する時間帯でも市道263号線へ通れるようにしてはどうか。

通過交通及び地域の安全性を考慮し難しい

答 開発部長

鎌倉新橋は国道155号の将来4車線化のためにかかれたもので、通過交通の安全性、地域への負荷を考慮し、愛知県と公安委員会との協議に基づき、現在の交通規制になっており、難しいと考えている。



▲ガードレールで囲まれ未供用となっている鎌倉新橋